

都市計画道路長尾杉線整備に係る説明会（令和4年4月24日開催）の主な質疑応答

### ○事業計画について

#### 【質問】

- ・住宅を購入する際に牧野長尾線の計画は聞いていたが、長尾杉線の計画は聞いていなかった。長尾杉線の計画に関し、長尾台住民にはどのように説明したのか。

#### 【回答】

- ・平成29年に長尾杉線の都市計画決定を行う際に、菅原生涯学習市民センターで都市計画決定に係る説明会を開催している。開催の際にはHP及び市の広報紙にて周知を図っている。  
また、事業認可取得の際にも、同会場で説明会を開催しており、その際にもHP、広報紙及び回覧にて周知している。

#### 【質問】

- ・長尾杉線は大池の南側ではなく、北側に接続するような計画も聞いたことがある。なぜ南側のルートになったのか。
- ・都市計画を定める検討の際には、大池の北側ルートを検討したのは事実であるが、長尾東通線との接続や国道1号BPとの接続など、複数のコントロールポイントを勘案した結果、現在の計画に確定した。

### ○交通安全対策について

#### 【質問】

- ・横断歩道等の設置は公安協議の結果次第だと考えるが、現時点での想定設置箇所はどのように考えているのか。

#### 【回答】

- ・国道1号BPとの交差点部は信号の設置を含めて協議している。

#### 【意見】

- ・長尾杉線が整備されることで、責谷橋から南下し、住宅街へ流入する車両が増える。住宅内道路は線形も悪く、見通しは良くない。車両と子供の接触事故も発生している。それらを念頭に置き、事業を進めてほしい。

## ○交通安全対策について（続き）

### 【質問】

- ・牧野長尾線の大池から南側が完成しない場合、完全に通学路や車両を振り替えることはできないと考える。安全の担保はどのように確保するのか。

### 【回答】

- ・工事中においては、工事車両が通るルートと通学路が交差する箇所に交通誘導員を配置し、安全に配慮する。

### 【意見】

- ・長尾杉線が供用されても、牧野長尾線の全線が供用されない限り、長尾台住宅の中では通り抜け車両が増加し、児童等の安全性の確保が非常に困難になると思う。

### 【意見】

- ・国道1号BPのランプを解放することで、交通量が増加するため、周辺の道路が完成するまでランプは解放するべきではないのではないか。

## ○道路計画について

### 【質問】

- ・交通量予測はどこが実施したのか。公開されているのか。

### 【回答】

- ・将来交通量の予測は市で行っている。  
交通量が記載されている配布資料は市のHPで公開しており、誰でも閲覧が可能である。将来交通量の基となったデータについては単体での公開は行っていない。

### 【質問】

- ・府道枚方高槻線の1日当たりの交通量はどの程度か。

### 【回答】

- ・配布資料にお示しのとおり、1日当たり11,800台である。

### 【質問】

- ・制限速度は何km/hか。

### 【回答】

- ・設計速度は40km/hで計画している。制限速度は警察で指定するものであり、40km/hか、それ以下になる。制限速度が40km/hを超えることはないと思う。

## ○道路計画について（続き）

### 【質問】

- ・横断防止柵の高さはどの程度か。

### 【回答】

- ・地面から 90cm の高さとなる。

### 【質問】

- ・長尾杉線は大型車規制を設定するのか。

### 【回答】

- ・警察との協議の中で大型車規制を設定する話は出ていない。

### 【質問】

- ・計画道路の高さはどの程度になるのか。

### 【回答】

- ・現道の高さ及び、大池の堤の高さから大きな変更はない。堤が大池側に拡幅し、全幅 16m の道路となる。

### 【質問】

- ・道路は橋梁形式や鉄骨での支えではなく、盛土により堤を拡幅するということか。

### 【回答】

- ・その通りである。

### 【質問】

- ・牧野長尾線の大池より南側の下には歩行者道が設置されている。牧野長尾線が府道枚方高槻線まで接続された場合、歩行者道からどの程度の高さに道路が築造されるのか。

### 【回答】

- ・新たに築造される牧野長尾線の高さと現在の堤の高さに大きな変更はなく、現在の堤の高さから橋梁形式でお寺の方へ伸びていくイメージである。

## ○周辺の道路整備について

### 【質問】

- ・責谷橋の東側に存する橋梁は車が対面通行できる程度の橋梁に拡幅するのか。

### 【回答】

- ・橋梁の拡幅は実施しない。

## ○周辺の道路整備について（続き）

### 【質問】

- ・現在、長尾台4丁目の住宅街から第二京阪の既設ランプに接続する道路があるが、杉工区の完成とともにランプが解放された場合、既設ランプを経由して国道1号BPへ出入りできるようになるのか。

### 【回答】

- ・当該道路が接続する既設ランプはオフランプとなり、国道1号BPから下りてくる一方通行の道となる。国道1号BPへ流入する場合は、交差点を通過し、各オンランプから合流することとなる。

## ○周辺環境への影響について

### 【質問】

- ・静かな環境を求めて、長尾大池の南側に住宅を購入している。都市計画決定及び事業認可の際にも再三要望しているが、遮音壁の設置が一向に反映されない。また、道路ができることで高所にある道路から家が覗かれる。十分な対策がないと、協力できない。

### 【回答】

- ・騒音の軽減対策としては音を吸収する高機能舗装を実施する。遮音壁については、設置しない。

### 【意見】

- ・高機能舗装は10年も経てば機能しなくなる。恒常的なメンテナンスもできないはずで、効果として期待できない。  
騒音についても瞬間的な騒音は考慮していない。それらを考慮し、踏み込んだ対策を求める。

### 【質問】

- ・遮光壁（目隠しフェンス）の設置は行わないのか。

### 【回答】

- ・設置しません。

### 【意見】

- ・国道1号の騒音について警察に相談するように自治会に促すのではなく、地方自治体として市役所が表に立ち要望していくべきだ。

### 【回答】

- ・国道1号の騒音については、国土交通省と協議する際に伝えておく。